

(様式第3号)

企業・団体名（ 有限会社Raicho ）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目 番号	カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得証拠があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 （必須）			・国内外問わず多様な人材を採用しており、経営トップが採用活動から日々の教育体制も適宜確認している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 （必須）		【予定】	・就業時及び日常のミーティング等を通じて、相互尊重を基本としたコミュニケーションの重要性を共有し、役職・雇用形態に関わらず、安心して働ける職場環境づくりに取り組んでいる。 R8年度中に、外部研修やガイドライン等も活用しながら、管理職教育及び相談体制の強化を進め、継続的に働きやすい環境整備に取り組んでいる。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 （必須）			・労働基準法等の改正内容を経営者、スタッフ共に認識している。・シフト制による労働時間管理を実施している。月数回進捗確認の場を設け、業務量の負担に備りがないか確認をしている。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 （必須）			・ワーキングホリデー人材の採用など、外国人労働者の積極的な雇用を行っており、定期的に労働者と面談を行い、差別・人権侵害がないか確認をしている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5	人 権 ・ 労 働	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			・冬期アクティビティ事業の開始前等危険箇所を含む業務の前に、研修や注意事項の共有の時間を設定するなど、ヒヤリハットを事前に防ぐ安全管理を徹底している。 ・飲食部門では定期的に衛生管理に関する研修を行っている。			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 （必須）			・3ヶ月に1度の面談や日々の会話を通してスタッフの健康状態、精神状態の把握、対応を行っている。			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			・妻子持ちの従業員が時短勤務を行うなど、個人の希望に応じた部門や作業量を選択できるため多様な人材の活躍機会がある。性別や年齢などに関係なく平等な昇給制度を設けている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 （必須）			・職務や役割に応じた研修を実施している。スキルに応じて専門的な研修への参加費用を補填している。				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 （必須）			・雇用形態に関わらず、業務内容、責任範囲、能力等に応じた公正な待遇を行うことを基本方針としている。 ・正社員・契約社員・アルバイト等の区分に関わらず、同一労働同一賃金の考え方に基き、業務内容や役割を踏まえた適切な賃金設定及び処遇に努めている。また、定期的に業務内容や役割分担を確認し、不合理な待遇差が生じないよう運用を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・定期的に登山研修を行い、社員の運動力の向上を図っている。 ・健康診断を会社として支援している。			3					8									
11		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 （必須）			・廃棄物の状態、種類などを把握している。											11.6	12.4		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 （必須）			・自然エネルギー100%のハチドリ電気を導入し、エネルギーの使用量管理と温室効果ガス排出量の削減を行っている。								7.3				13					
13	環 境	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 （必須）			・灯油からエアコンへの切り替えを積極的に行う等温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいる。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 （必須）	【非該当】		・有害化学物質を使用していない。			3.9			6.3					11.6	12.4					

項目 番号	カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （異などの取組動向があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由を記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
15	環 境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 （必須）			・再利用可能な木製カップを使用する等環境に配慮した材を使用している。地元産の材料や製品を使用することで食品の輸送エネルギーを削減したり地域の自然物を保護している。													15				
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 （必須）			・宿事業ではゴミの分別を徹底し、リサイクル可能な紙製品やペットボトルの代わりに瓶飲料を導入するなど3Rの推進活動を行っている。								12.5		14.1							
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・宿の温泉施設について節水式のシャワーを使用している。							6.4 6.6										
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ （任意）			なし		3.9			6	7			12	13.3	14	15					
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ （任意）			・のりくら観光協会で作成した環境への取り組みに関するポスターを通じて、情報開示している。									12.6								
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・自然エネルギーのハチドリ電気を導入し、太陽光パネルによる発電を実施している。						7.2				13							
21	公 正 な 事 業 慣 行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			なし									12.2	13	14	15					
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）			取引先、行政機関、関係事業者との関係においても、透明性及び公平性を重視し、社会通念を逸脱する金品授受や不適切な接待等を行わない方針を社員へ周知している。 また、口頭授受においても、適切な経費処理等を行う。												16 16.5					
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）			取引先、地域事業者、関係団体との関係においても、公正かつ誠実な取引を行い、不当な利益取得や不適切な情報共有等を行わないよう社員へ周知している。 また、地域内外の事業者と健全な協力関係を築きながら、適切な競争環境の維持に努めている。												16					
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 （必須）			写真・文章・デザイン・企画等を含む知的財産の重要性を認識し、適切な保護及び管理に取り組んでいる。 自社で制作・発信するコンテンツについては、著作権等に配慮した運用を行うとともに、他者が保有する知的財産権についても十分に尊重し、無断使用や権利侵害を防止するよう社員へ周知している。 また、取引先や地域関係者との連携においても、情報及び成果物の適切な取り扱いに努めている。									8.2 8.3	9							
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 （必須）			・定期的な社内研修を実施し、情報管理方法について周知している。													16				
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ （任意）			・自社のサプライチェーンを把握している。													16				
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ （任意）								5			8		10	12	13	14	15	16	17	
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/	基本 （必須）			パートナーシップ構築宣言を作成し、公表している。		3						8	9	10					17		

項目 番号	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】 の場合 選択入力	具体的な取組 （※などの取得経路があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 （必須）			・可能な限り地元産の材料や製品を使用している。サブ ライチェーンが明確な製品を扱っている。			3.9									12.4						
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 （必須）			・数週間毎のスタッフ教育や面談の場を通じて品質均 一化を図っている。									9									
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			飲食では地産地消を心がけ、テイクアウトで使う容器な どもなるべくプラスチックを使わず、環境に優しい製品を 活用している。						6						12	13	14	15			
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			当社は少子高齢化の著しい過疎地域の中山間地域で の事業を営んでおり、ここでの事業活動そのものが社会 課題の解決である。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 （必須）			・地域住民との交流会やイベントに参加し、対話の場を 設けている。対話に基づき地域への影響を把握し改善 に務めている。				4					9		11	12		14	15		17	
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・地域の自然保護活動や催し物に積極的に参加してい る。				4							11			14	15		17	
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地産地消、地産外販）している	チャレンジ （任意）			・地域の間伐材や農作物を使用したカフェを運営してい る。宿の売店では地域産の製品を販売している。								8	9		11	12	13					
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本 （必須）			・経営理念が明確である。一ヶ月に一度の社員会議に て社長から経営理念や経営目標の共有を行っている。									8	9							17	
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築して いる	基本 （必須）			・社員会議にて法令遵守の重要性を全社員に共有して いる。																	16	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備 している	基本 （必須）			・10人規模の会社のため、専属担当はいないが、経営 層がその役割を担っている。																	16	
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼ す影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本 （必須）			・適宜ステークホルダーとの会話の場を設けている。自 社のステークホルダーへの影響を意識して適切に対応 している。																16	17	
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ （任意）			特別な対応はしていない																	16	
41	【社会的責任】	チャレンジ			国立公園内で事業を営む者として国立公園の環境保																	16	
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ （任意）			なし									9		11		13 13.1			16		
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ （任意）			事業承継時の財政面や資金繰りがうまく回るような対策 （保険の加入等）はしている。								8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定